

名古屋市立大学医学附属西部医療センター

病院長名	大原 弘隆
所在地	〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町 1 丁目 1 番地の 1
交通案内	名古屋市営地下鉄「黒川」、「名城公園」又は「庄内通」駅より徒歩 20 分 名古屋市営バス 栄 11・名駅 13 他「西部医療センター」下車すぐ（時間帯によって「志賀公園前」下車徒歩 2 分）

□ 病院の特徴

西部医療センターは、地域の中核病院として親しまれてきた城北病院と城西病院を前身とします。2011 年にクオリティライフ 21 城北内の現在地に新築移転し、両院を統合した名古屋市立西部医療センターとして運営を開始。以来、小児・周産期医療、がん医療、脊椎医療、救急医療の拡充に取り組んできました。2013 年 2 月には名古屋陽子線治療センターを開設し、東海 3 県で初めてとなる陽子線がん治療をスタート。また同年 9 月には地域医療支援病院の承認を受け、2019 年 4 月には地域がん診療連携拠点病院に指定されました。2021 年 4 月より名古屋市立大学医学部の附属病院となり、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターに改称しました。病床数は一般病床 500 床で、診療科数も 33 診療科を標榜しており、ほとんどの疾患に対応できる研修体制を整えています。

□ 研修プログラムの特徴

- 3 年間の専門研修期間中、複数の施設（基幹施設または連携施設）で最低 6 か月以上の研修を行います。
- 専門研修の 3 年間の 1 年目、2 年目、3 年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の修得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。
- 専門研修期間中（3 年目）に名古屋市立大学大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

プログラム例

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次以降
基幹施設	連携施設		
外科専門研修		サブスペシャリティ領域など専門医研修	

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次以降
連携施設	基幹施設	大学院	
外科専門研修		大学院コース	



□ 主な連携施設

名古屋市立大学病院（名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地）

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター（名古屋市千種区若水一丁目 2 番 23 号）

JA 愛知厚生連稲沢厚生病院（愛知県稲沢市祖父江町本甲拾町野 7）

三重北医療センターいなべ総合病院（三重県いなべ市北勢町阿下喜 771）

□ メッセージ

指導医：三井 章（院長代行）

当院は 2011 年に 2 つの市民病院が合併し、新たに開院した 500 床を有する総合病院です。各診療科は充実しており、特に専門内科や放射線科など外科診療を支えてもらう環境は十分に整っています。当院外科は消化器外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、小児外科で構成されています。



それぞれの診療科での手術症例数は、同規模の市中病院としては多く、後期研修として十分な症例経験を得ることができると思います。

また、現在増え続ける癌に対する医療として内科的治療、外科的治療はもちろんのこと、充実した内視鏡検査、画像診断装置、放射線治療、陽子線治療と系統的な診断・治療ができる環境が整っています。さらに医師だけではなく、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士等も充実しており、チーム医療を軸とした診療を行うことができます。

連携施設は 6 施設あり、それぞれの施設ごとの特徴を活かした幅広い知識や研修を経験できると思います。

このように充実した環境のもとで後期研修を受けることができ、研修終了時には患者に信頼され、標準的な医療を提供できる、プロフェッショナルとしての誇りと自信を身につけることができると思います。

□ 募集要項

・採用予定人数	5 人
・給与／月額	548,000 円
・当直回数／月	－
・当直料／回	－
・その他	平日夜間勤務有（2～3 回／月） 休日勤務有（日勤 1～2 回／月・夜勤 1～2 回／月）
・応募連絡先	担当者 病院管理部管理課庶務係 電話番号 052-991-8121 E メール west-resident@sec.nagoya-cu.ac.jp